

資料編

資料編

資料－1 検討の経緯

	協議会	区民部会	事業者部会	庁内検討会	
平成27年	10月19日		ヒアリング※1		
	10月22日		ヒアリング※1		
	11月4日	第1回			
	11月5日 ～ 12月28日			アンケート調査	
	12月2日		第1回(まち歩き)		
	12月10日		第2回(まち歩き)		
	平成28年	1月14日		第1回	
1月20日				第1回	
1月26日		第2回			
2月15日			第3回		
2月15日			ヒアリング※2		
2月18日			ヒアリング※2		
2月25日			ヒアリング※2		
2月29日			ヒアリング※2		
3月3日				第2回	
3月9日					第2回
3月16日		第3回			
4月20日 ～ 5月20日		パブリックコメント			
6月24日		第4回			
6月27日					第3回

※1 足立区機能訓練友の会、足立区視力障害者福祉協会、足立区パーキンソン病友の会、足立区ろう者協会、足立サンソ友の会、国際障害者年を進める足立の会、東京頸髄損傷者連絡会、日本オストミー協会へのヒアリング

※2 子育て中の方へのヒアリング

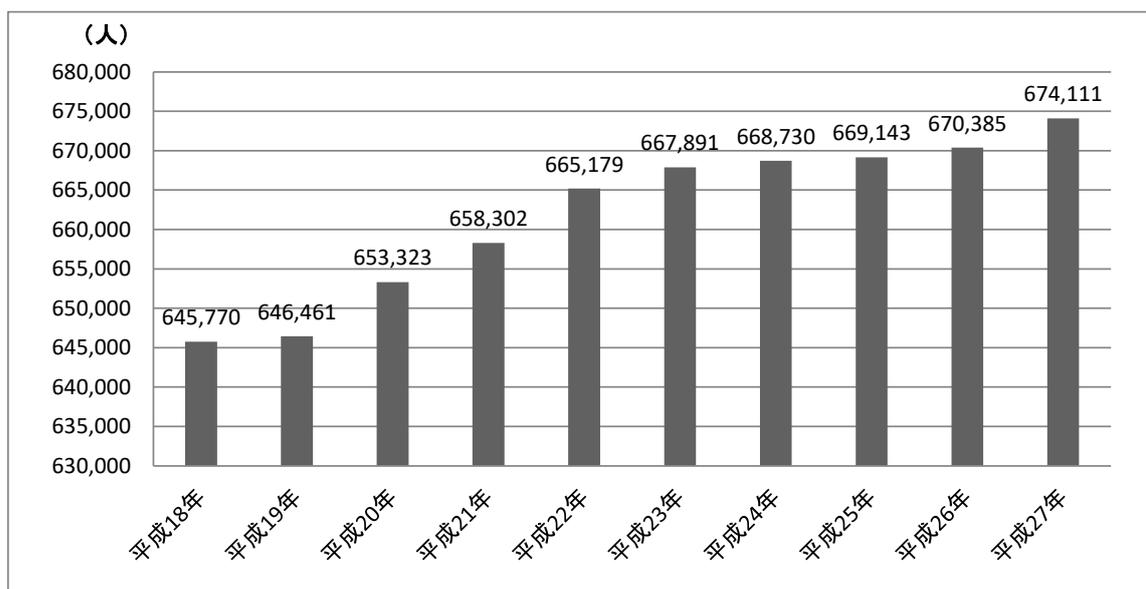
資料－２ 足立区を取り巻く状況

(1) 人口の状況

ア 総人口

総人口は、平成27年1月現在で約67万人です。日暮里・舎人ライナーが開業した平成20年から急増しましたが、平成23年以降は微増傾向にあります。

総人口の推移

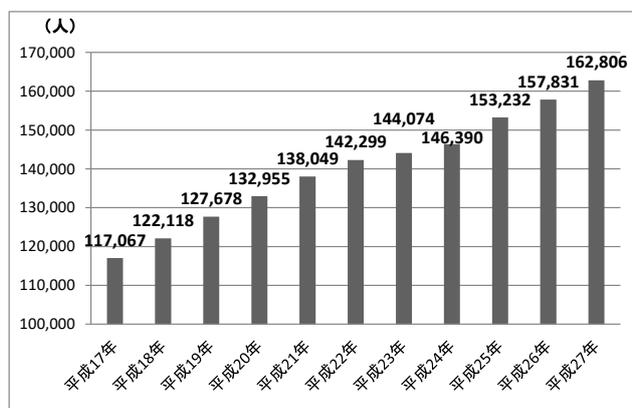


出典：数字で見る足立(経年表)／住民基本台帳(各年1月1日現在)

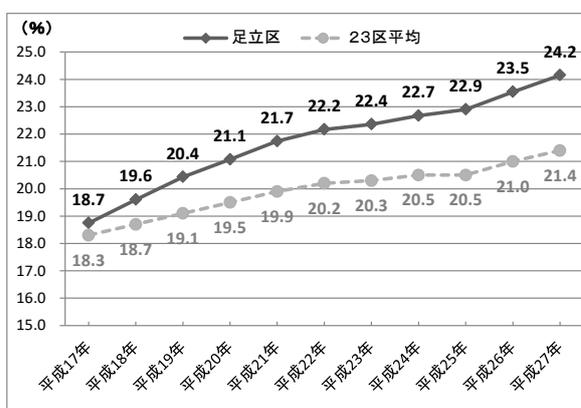
イ 高齢者人口

高齢者人口(65歳以上の人口)は、平成27年1月現在で約16万3千人であり、高齢化率は24.2%です。ともに増加傾向にあります。

高齢者数の推移



高齢化率の推移

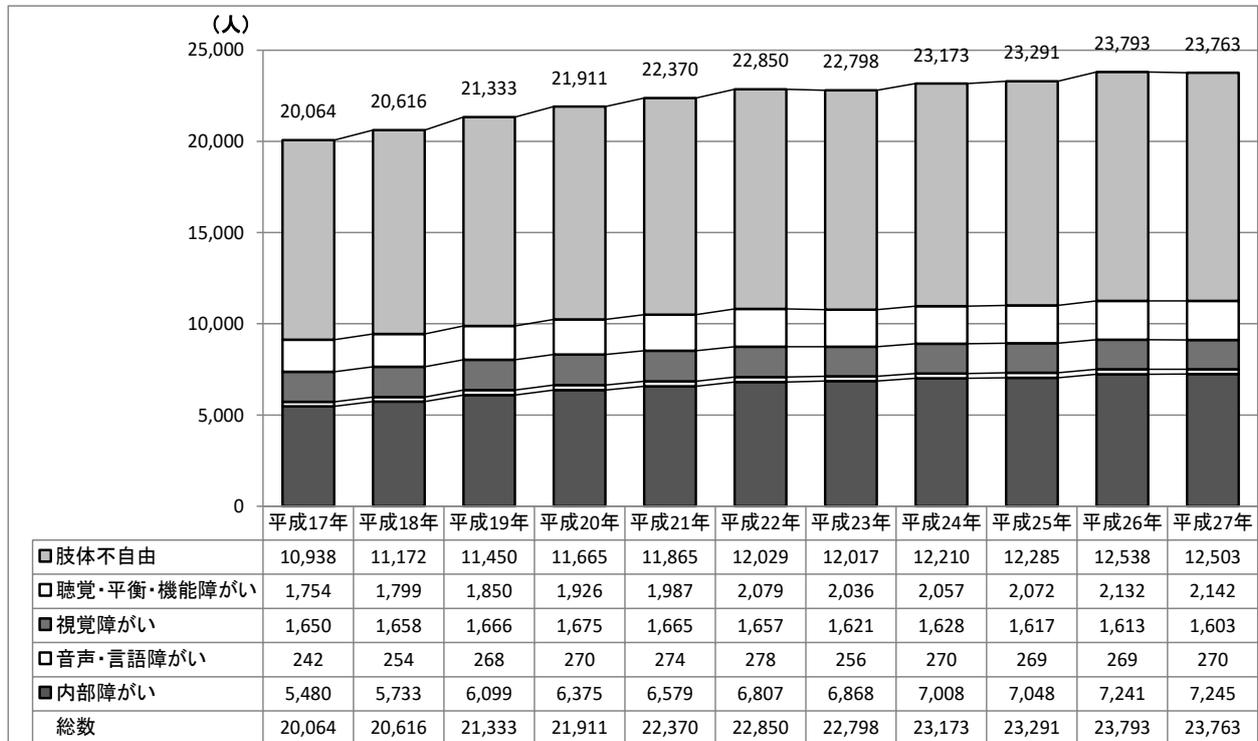


出典：数字で見る足立(経年表)／住民基本台帳(各年1月1日現在)

ウ 障がい者人口

身体障害者手帳所持者は平成27年4月現在で約23,800人です。増加傾向にあります。

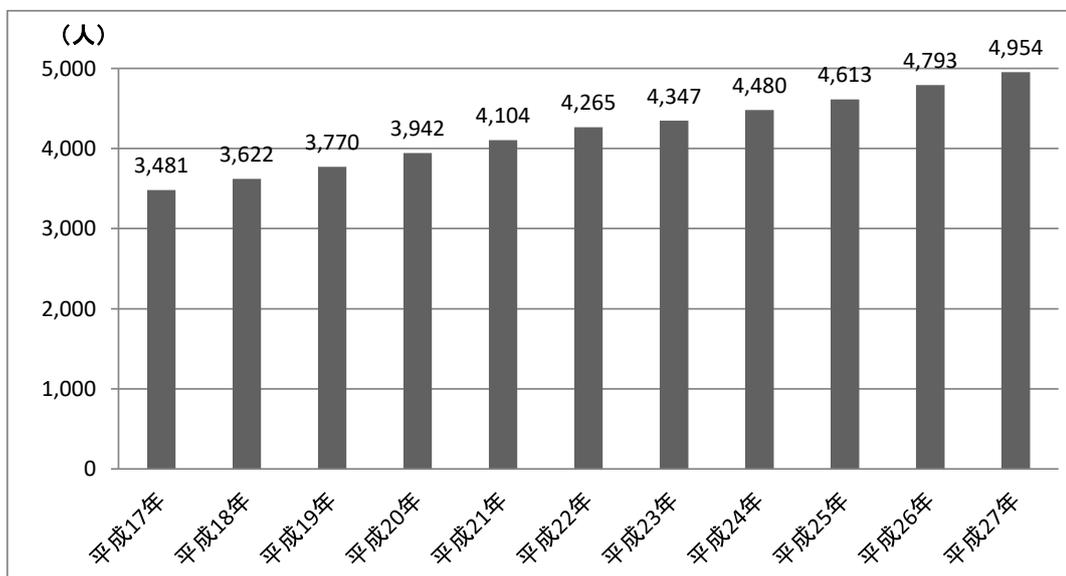
身体障害者手帳所持者数の推移



出典：数字で見る足立(経年表)／肢体不自由、聴覚・平衡機能障がい、視覚障がい、音声・言語障がい
(各年4月1日現在)

愛の手帳所持者(知的障がい者)は、平成27年4月現在で約5,000人です。増加傾向にあります。

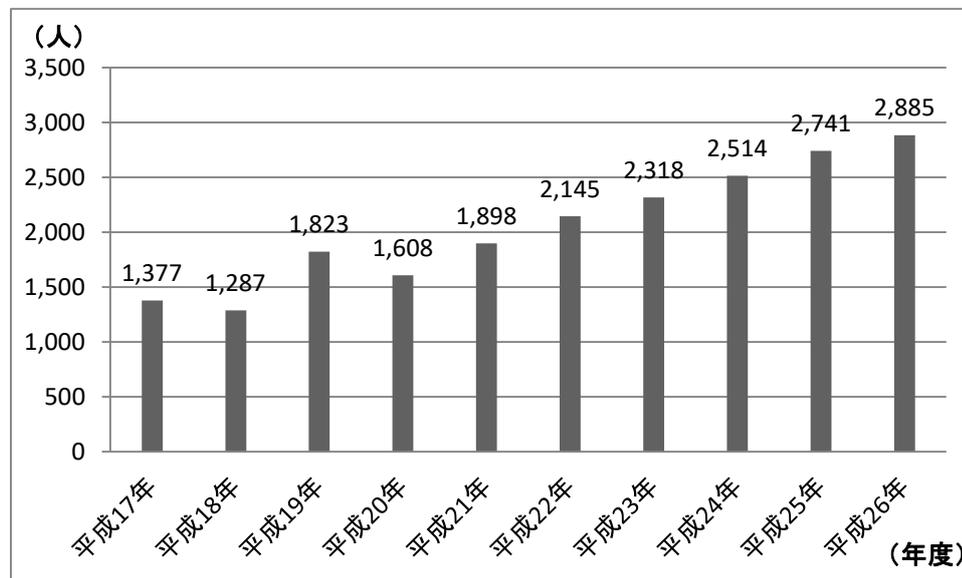
愛の手帳所持者数の推移



出典：数字で見る足立(経年表)／愛の手帳所持者(各年4月1日現在)

精神障害者保健福祉手帳交付件数は、平成26年度現在で約2,900人です。平成21年度以降増加しています。

精神障害者保健福祉手帳交付件数の推移



出典：数字で見る足立(経年表)／資料：足立保健所こころとからだの健康づくり課

エ 外国出身の方

足立区に居住する外国出身の方は、2万3千人前後で推移しており、国籍別では中国、韓国及び朝鮮、フィリピンが多い状況にあります。

足立区に居住する外国出身の方の推移

	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年
		23,443 人	23,059 人	22,282 人	22,516 人
韓国及び朝鮮	37%	36%	36%	35%	33%
中国	36%	37%	36%	39%	40%
フィリピン	15%	15%	14%	14%	14%
その他	12%	12%	13%	12%	13%

出典：数字で見る足立(経年表)／住民基本台帳(各年1月1日現在)

オ 足立区の将来人口

平成27年9月15日に公表された足立区人口推計・中位推計によると、足立区の将来人口のピークは平成32年で、その後減少すると予測されました。また、概ね10年後の平成37年の年齢別構成は、平成22年を100とすると、年少人口は90、生産年齢人口は101、老年人口のうち65歳以上は107で、75歳以上人口は141になると予測されました。

足立区の将来人口推計

(平成27年を100とした場合の各年の値)

	平成 27 (2015)	平成 32 (2020)	平成 37 (2025)	平成 42 (2030)	平成 47 (2035)	平成 52 (2040)
総数	100.0	101.3	100.8	99.8	97.2	94.4
0～14歳	100.0	96.3	89.9	82.8	77.6	74.8
15～64歳	100.0	100.3	100.6	99.5	94.0	86.5
65歳以上	100.0	106.5	106.8	109.1	115.7	125.0
75歳以上	100.0	125.3	141.3	143.2	136.3	137.0
85歳以上	100.0	151.6	205.1	251.3	275.2	261.6

出典：足立区将来推計人口・中位推計／平成27年9月15日公表

(2) 世論調査による区の取り組みに対する重要度

足立区世論調査によると、平成24年以降防災対策への関心が高い状況にあります。また、交通対策が上位にあります。

足立区世論調査による、今後の区の取り組みに対する重要度

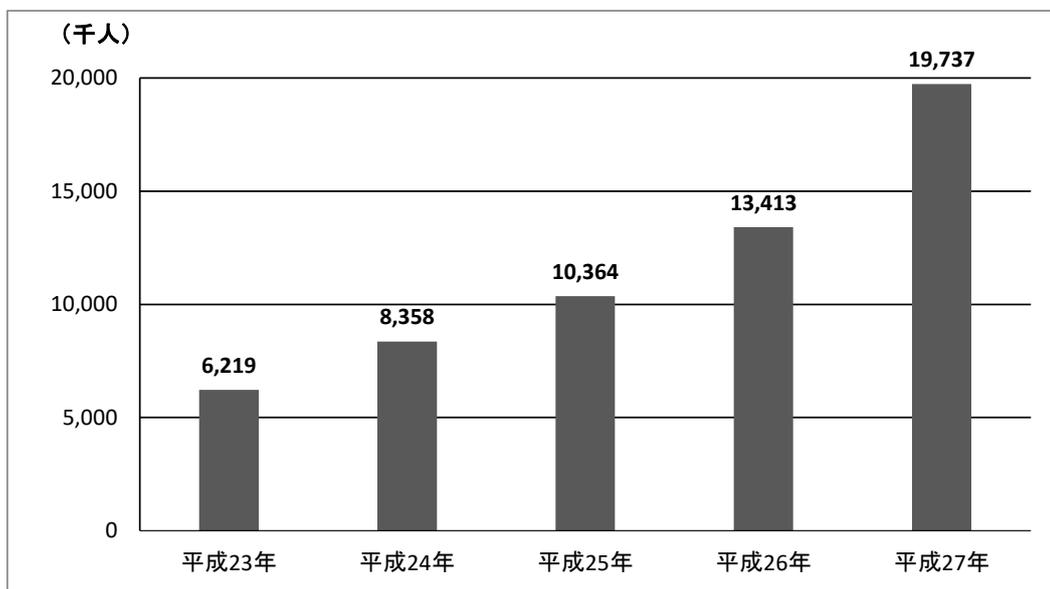
	平成 22 年	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年
第 1 位	高齢者支援	交通対策	防災対策	防災対策	防災対策
第 2 位	交通対策	高齢者支援	交通対策	治安対策	治安対策
第 3 位	低所得者対策	防災対策	高齢者支援	交通対策	交通対策
第 4 位	子育て支援	都市開発	都市開発	高齢者支援	資源環境対策
第 5 位	災害対策	子育て支援	住宅政策	保健衛生対策	高齢者支援

出典：足立区世論調査(各年9月に実施)

(3) 訪日外客数の状況

訪日外客数は増加傾向にあり、平成25年に初めて1,000万人を突破し、平成27年は約2,000万人となり、僅か2ヶ年で倍増しました。

訪日外客数の推移



出典: 日本政府観光局

(4) 区内居住者の移動状況

ア 私事目的の移動状況

足立区総合交通計画によると、区内居住者の私事(スーパーなどへの買い物や病院などへの通院)目的の移動状況は、以下に示すとおりです。移動先は区内が多くなっており、北千住駅、綾瀬駅、西新井駅、竹ノ塚駅周辺がとくに目立ちます。(次ページ参照)

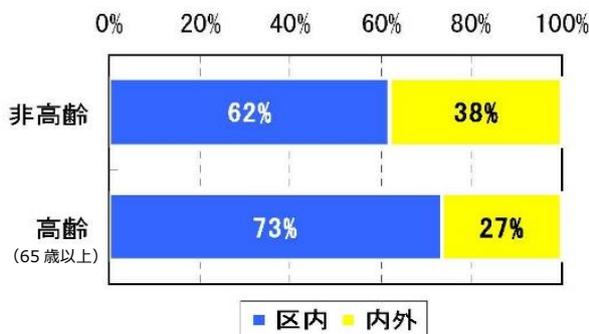
拠点的な駅周辺のバリアフリーが課題です。

区内居住者の私事目的の移動状況

拠点駅のポテンシャルへの課題

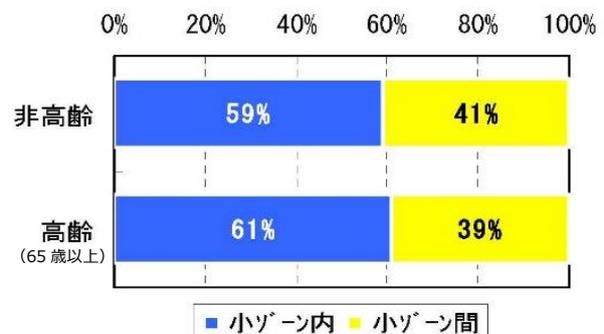
- ① 駅を中心とした生活圏域の形成
 - 足立区居住者の私事目的の6～7割程度が足立区内を到着地としており、その傾向は高齢者ほど高くなっています。更に、その約4割が自地域を超えた移動となっています。自地域を超えた私事目的は、拠点駅周辺に集中する傾向があるため、拠点駅を中心とした生活圏域の形成が伺えます。
 - 自地域内の私事目的の移動は、徒歩及び自転車利用が9割前後を占めており、歩行及び自転車の走行空間の形成が望まれます。

足立区居住者私事目的到着地の
区内・区外割合



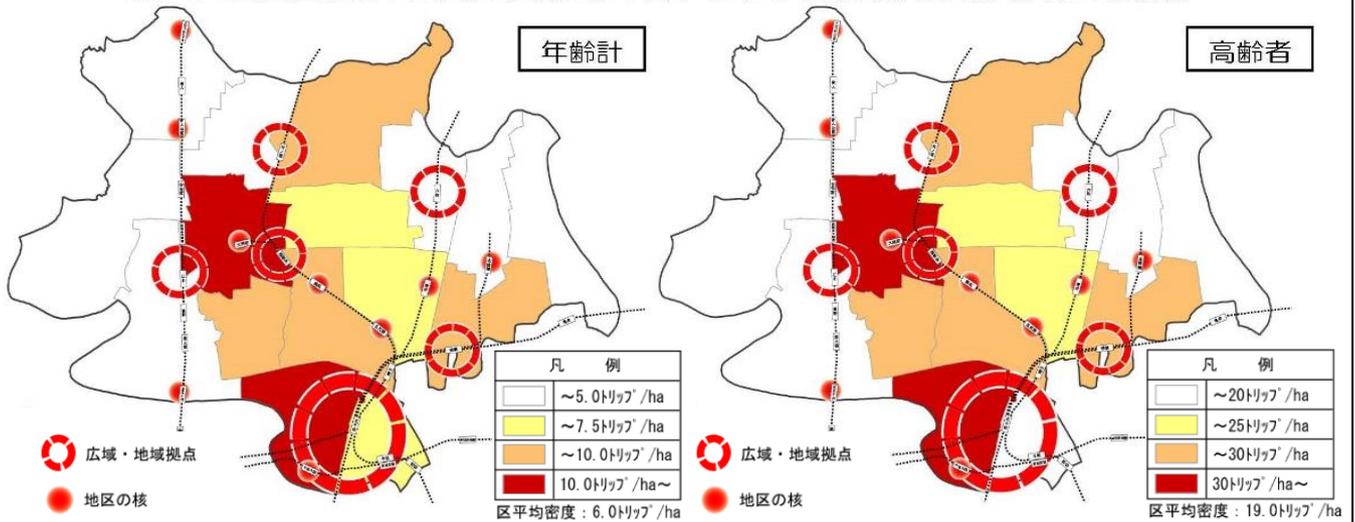
出典：平成20年度東京都市圏パーソントリップ調査

足立区居住者私事目的の区内
地域間(小ゾーン)移動割合



出典：平成20年度東京都市圏パーソントリップ調査

足立区居住者私事目的地域間移動の着トリップ密度(着トリップ密度=着トリップ/地域別面積)



出典：足立区総合交通計画(16ページ)

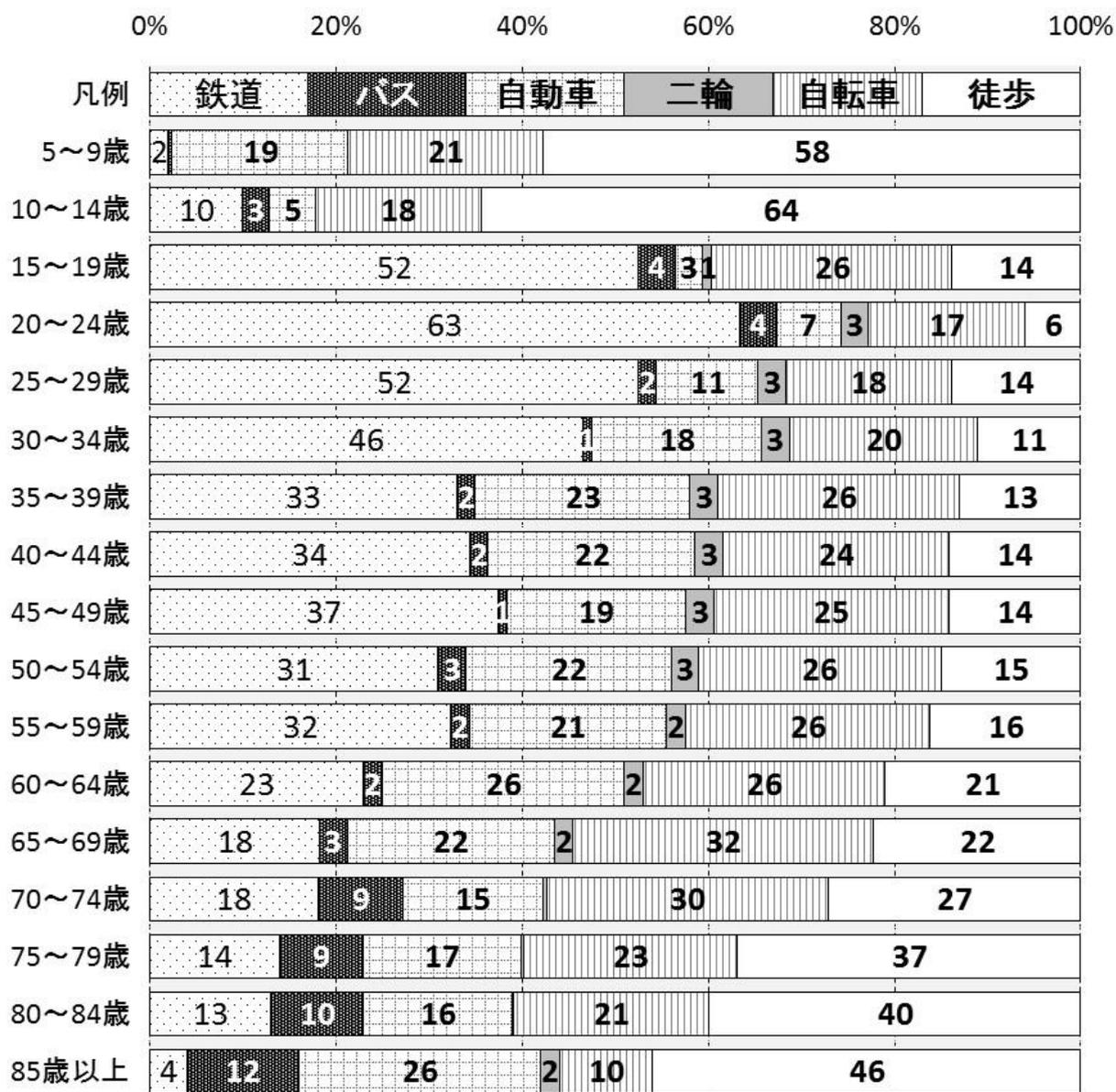
※パーソントリップ調査：パーソントリップ調査とは、東京都市圏内に居住されている方が、いつ、どこからどこへ、どのような目的で、どのような交通手段を使って移動したかを把握する交通実態調査です。パーソントリップ調査を実施することで、東京都市圏内における人の活動状況を把握でき、将来の活動状況を展望することで、将来の交通像を描く、総合交通計画の策定に資するものとなります。

イ 年齢階層別代表交通手段割合

足立区居住者の年齢階層別代表交通手段割合は、下図に示すとおり、年齢があがるにしたがいバス及び徒歩の利用割合が増加し、鉄道や自転車の利用割合が減少する傾向を示しています。

このため、地域内移動や歩道のバリアフリーの充実などが課題です。

足立区居住者の年齢階層別代表交通手段割合



出典：足立区総合交通計画／平成20年度東京都市圏パーソントリップ調査

(6) 足立区の地形や駅・道路などの状況

ア 足立区の概況

- ・ 23 区の最北端に位置
- ・ 東は中川をはさんで葛飾区、西は隅田川をはさんで北区、荒川区、北は埼玉県川口市、草加市、八潮市、南は葛飾区、墨田区、荒川区に接する
- ・ 区内は全体的に平らで、人工的に築かれた荒川の堤防や公園内の丘以外に丘らしい高地はほとんどない
-
- ・ 面積は 53.25 k㎡で、大田区、世田谷区についで広い
-
- ・ 人口は、674,111 人で、23 区で 5 位 (H27.1.1 現在。以下同じ)
- ・ 世帯数は、324,120 世帯で、23 区で 4 位
-
- ・ 年少人口比率は、12.3%で、23 区 (平均 11.3%) で 4 位
- ・ 生産年齢人口比率は、63.6%で、23 区 (平均 67.3%) で 23 位
- ・ 老年人口比率は、24.2%で、23 区 (平均 21.4%) で 2 位
-
- ・ 自然増減^{※1}の対前年比は、△0.17%で、23 区で 21 位
- ・ 社会増減^{※2}の対前年比は、0.92%で、23 区で 12 位

※1 自然増減: 出生と死亡による人口の増減

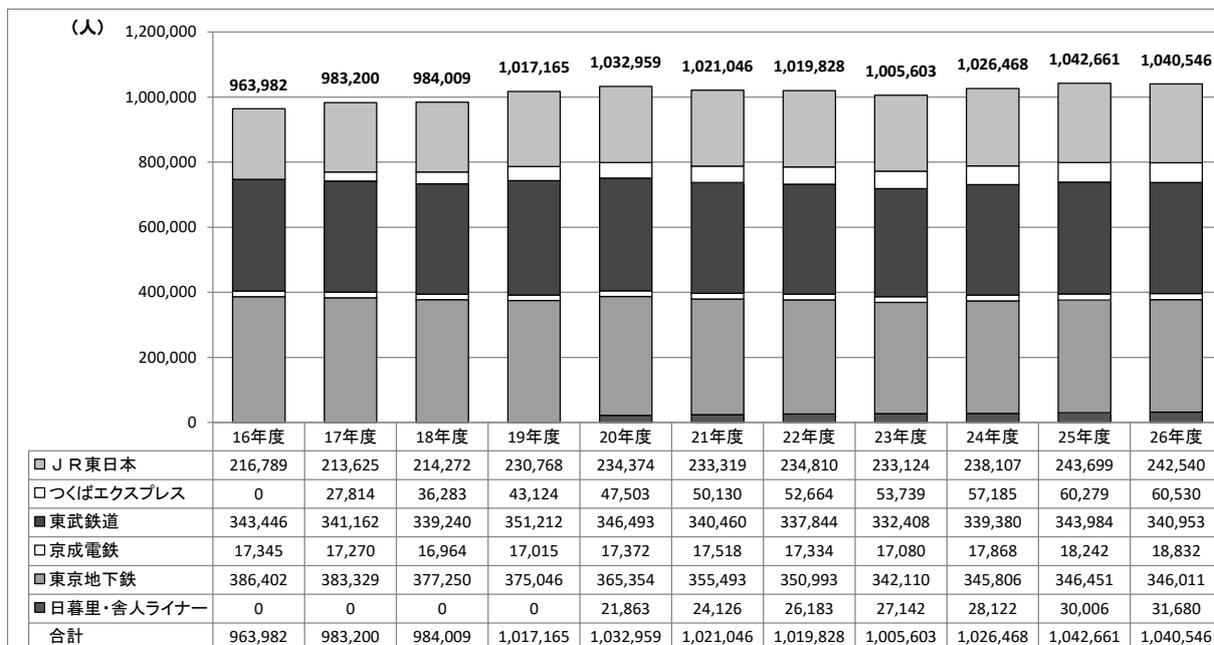
※2 社会増減: 転出と転入による人口の増減

出典: 足立区ホームページ(区の地勢・面積)、足立区基本構想審議会資料

イ 公共交通の状況

鉄道一日平均乗車人数は、平成26年度現在で約104万人です。平成23年度にやや落ち込みがあるものの、その後は増加傾向にあります。

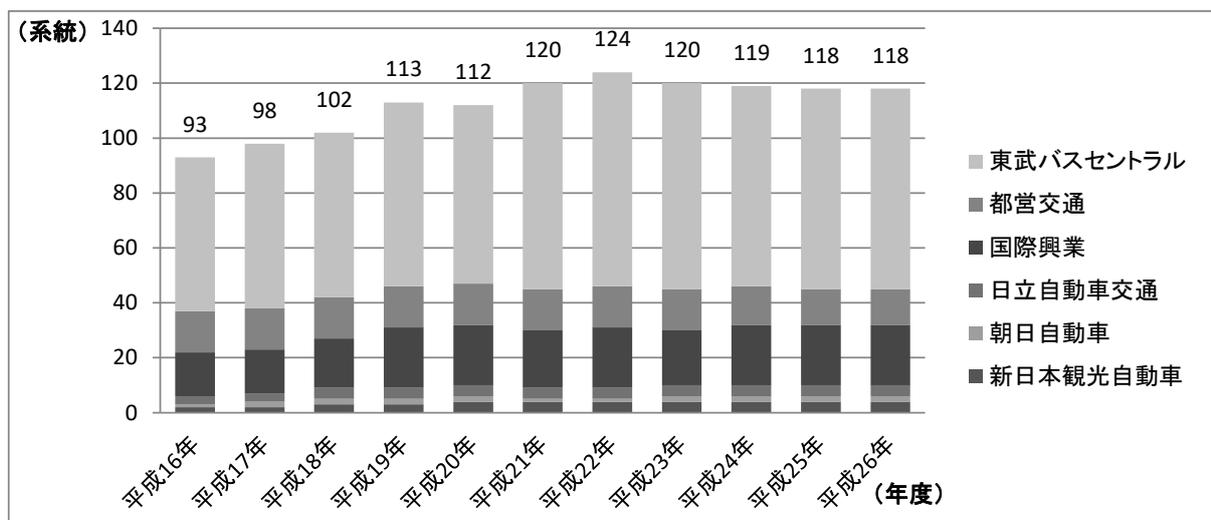
鉄道一日平均乗車人数の推移



出典：数字で見る足立（経年表）

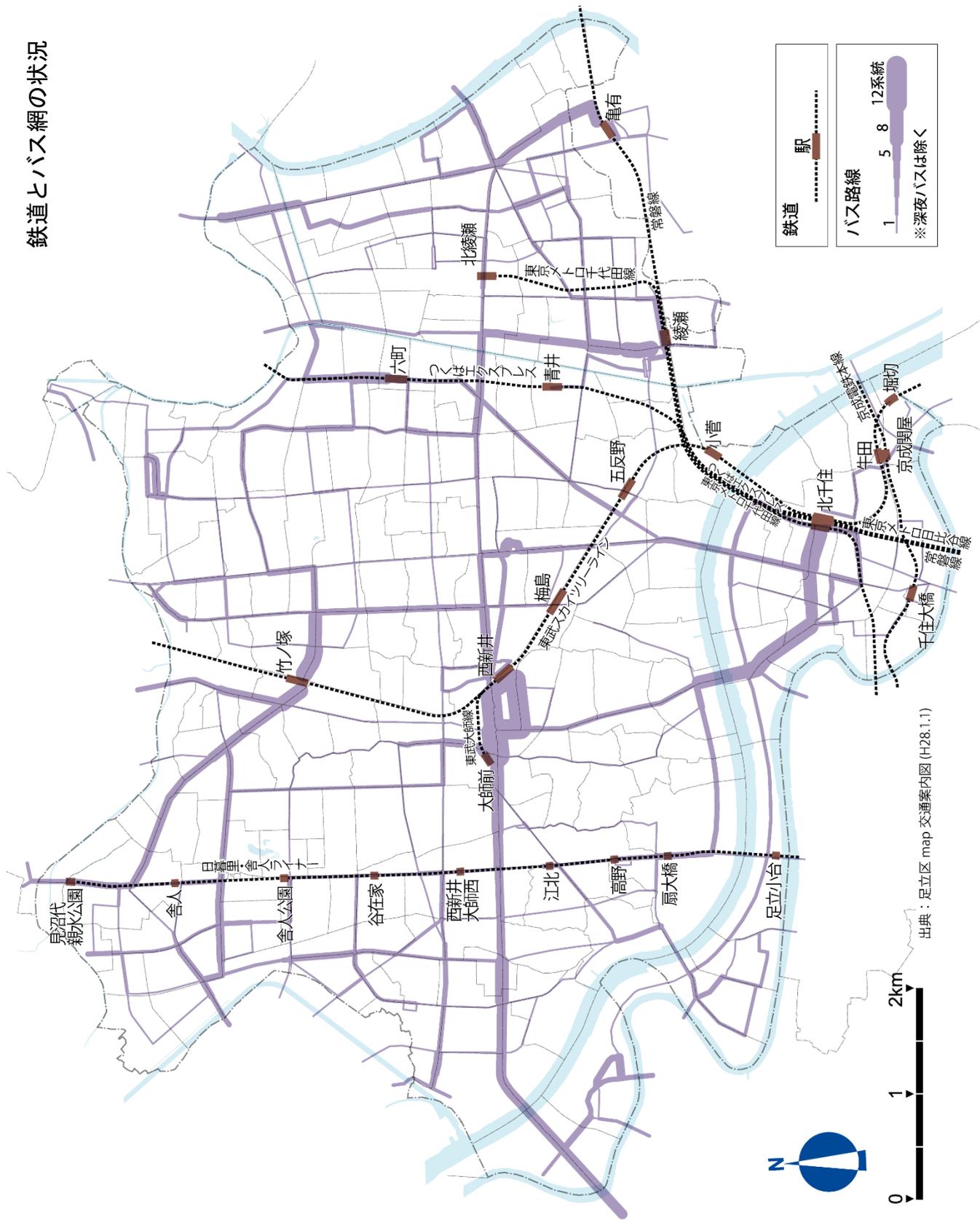
バスの系統数は、平成26年度現在で118系統あります。平成23年度以降横ばい傾向で推移しています。

バス系統数の推移



出典：数字で見る足立（経年表）

鉄道とバス網の状況



(7) 上位・関連計画

ア 足立区基本構想

足立区基本構想審議会・まちづくり専門部会(第3回)において、まちづくりに関する課題が示されました(平成27年10月23日)。以下に本計画に関わる部分を示します。

- ・ 今後、さらに増える高齢者が安心して暮らせるやさしいまちづくりが必要
- ・ 障がい者などの災害弱者が逃げなくても良いよう(自力での移動が困難な災害弱者を守るため)、不燃化・耐震化が必要
- ・ エリアデザインなど、民間資本を活用し、優先順位や効率性を考えた開発が必要
- ・ 東西方向が弱い公共交通網の充実または補完が必要
- ・ 集客機能や文化・医療、企業誘致などの目的をもったまちづくりが必要

また、足立区基本構想審議会において、「新たな足立区の基本構想について」が答申されました(平成28年2月)。

(背景) 今後、区が直面するであろう状況…さらに進展する人口減少・超高齢社会
⇒以下に示すよう、まちの活力の低下

- ・ 社会を支える人の減少
- ・ 地域コミュニティの衰退
- ・ 要介護高齢者の増加
- ・ 区内経済の停滞
- ・ 税収減と扶助費の増加

(課題) 人口減少、少子・超高齢社会を支える活力の維持・確保と、変化し続ける社会や課題に対応できる進化が必要

⇒区民と区政が、変化する状況とともに挑み、解決していく仕組みを構築

(将来像) **協創力でつくる 活力にあふれ 進化し続けるひと・まち 足立**

(将来像を構成する要素)

- ・ 協創 : 変化し続ける社会や課題に、足立区を挙げて対応し解決していくための根本となる仕組み
- ・ 活力 : 持続可能な社会を支えるための力であるとともに、進化していくためのエネルギー
- ・ 進化 : 今後起こりえる様々な変化に柔軟に対応し、課題を克服し、危機的状況を乗り越えること

(将来像の実現に向けた4つの視点(基本的方向性))

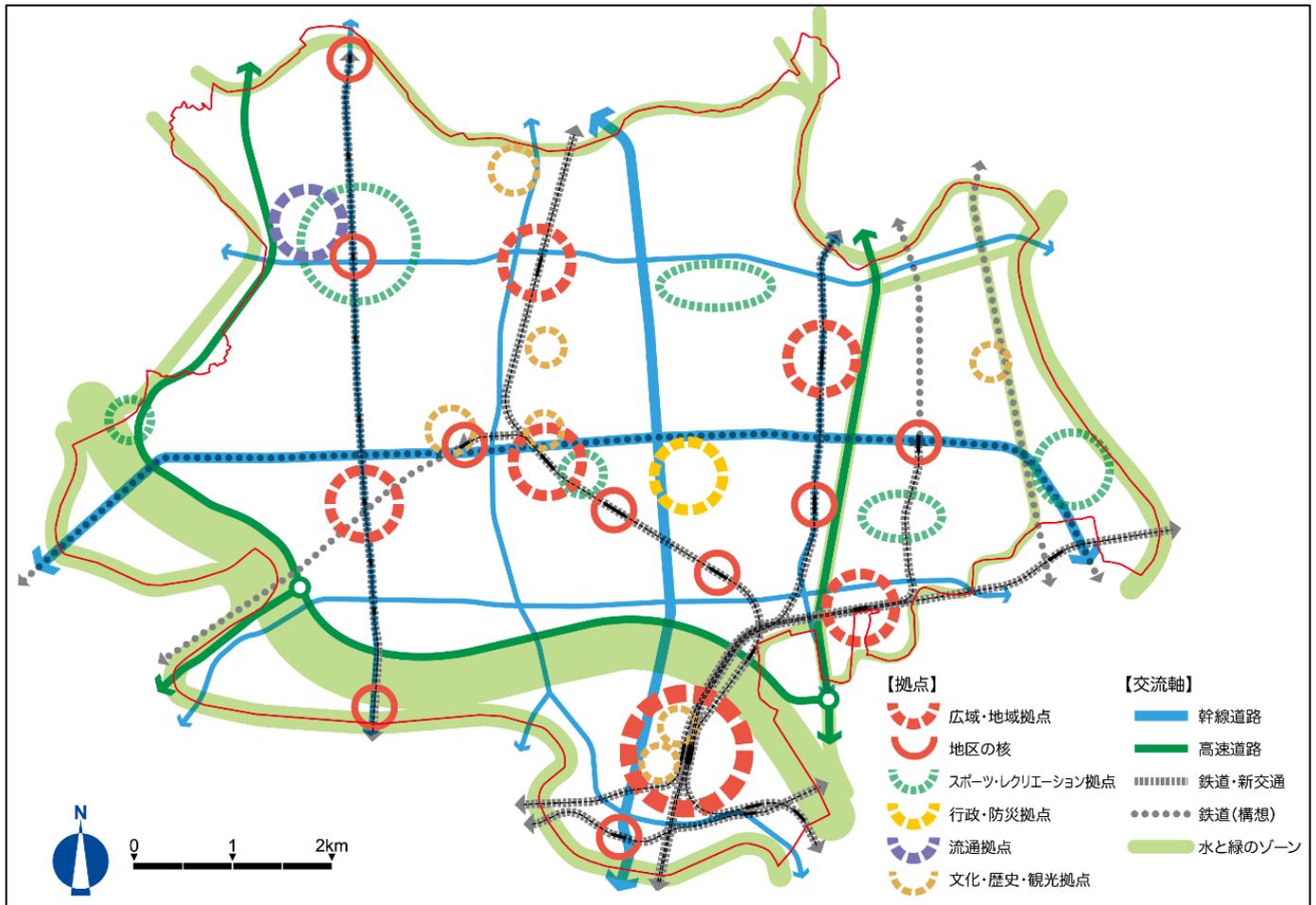
- ・ ひと : 多様性を認め合い、夢や希望に挑戦できる人
- ・ ぐらし : 人と地域がつながる 安全・安心なぐらし
- ・ まち : 真に豊かな生活を実現できる 魅力あるまち
- ・ 行財政 : 様々な主体の活躍と まちの成長を支える行財政

イ 足立区都市計画マスタープラン

足立区都市計画マスタープランでは、都市構造を構成する拠点のうち、広域拠点として北千住駅周辺、地域拠点として綾瀬駅周辺、六町駅周辺、西新井駅周辺、竹ノ塚駅周辺、江北駅周辺の5つを位置付けています。各拠点は、商業・業務、住宅などの機能の充実を図るとともに、相互のネットワークを図るとしています。

また、行政・防災拠点として足立区役所周辺を位置付けています。

足立区の都市構造図



出典：足立区都市計画マスタープラン（平成18年3月策定）

注：同プランは平成28年度に改定の予定

ウ 足立区総合交通計画

平成23年12月に策定された足立区総合交通計画は、概ね20年後の社会の進展を見据え、環境やユニバーサルデザイン、交通弱者などの視点に立ち、公共交通施策、自転車交通施策、交通結節点施策、交通需要管理施策等に関して整備方針を示しています。

足立区全域で展開する都市交通施策

施策体系	項目	内容
公共交通施策	広域移動の支援	地下鉄8号線(有楽町線)の整備促進、メトロセブンの整備促進
	高齢者等の外出支援	公共交通導入空間の確保(都市計画道路の整備)、デマンド型の交通サービスの提供
	快適な公共交通環境整備	低床化バスの導入、バス接近情報の提供
	既存路線バスの利用促進	走行環境の整備、バス停の環境整備
自転車交通施策	自転車走行環境の充実	自転車走行環境整備
	安全な自転車運転の徹底	交通安全教室の継続
	自転車駐車場の整備	区営自転車駐車場の改修
交通結節点施策	駅及び駅周辺のバリアフリー化の促進	違法駐輪対策の継続、区営自転車駐車場の適正な運営、歩行者等の回遊性の整備
	円滑な乗り継ぎの実現	駅におけるバス系統案内の充実
	物流貨物車の適正な荷捌きの実現	荷捌き駐車場の確保
交通需要管理施策等	不要不急な自動車利用の抑制	ノーマイカーデーの実施、パークアンドライド ^{※1} の検討、企業保有車の持ち帰り自粛、自転車の利用促進、効率的な自動車利用の推進
	運輸部門での環境に対する意識醸成	エコドライブの普及
	環境対応車への転換	環境に優しい庁有車の導入、エコステーション ^{※2} の整備促進

※1 パークアンドライド: 中心市街地に直接向かう車を少なくし、道路渋滞を抑制するために、鉄道駅付近に自動車を駐車してもらい、鉄道に乗り換えて向かってもらうこと

※2 エコステーション : 自動車にガソリンや軽油を給油するガソリンスタンドのように、低公害車向けにメタノールや天然ガスの供給、充電を行う設備を備えた施設

出典: 足立区総合交通計画(平成23年12月策定)

エ エリアデザイン

エリアデザインとは、まちの特徴・魅力や求めるべき将来像などをエリアデザインとして、区内外に広く発信することで、足立区のイメージアップや、地域の活性化を図る新しいまちづくりの取り組みです。

現在7つのエリアが位置付けられていますが、各エリアにおいては、大規模な区有地等を活用し、民間活力によるまちの整備を積極的に進めていくとしています。



各エリアの動向

名称	内容
花畑 エリア	<ul style="list-style-type: none"> ・文教大学進出が決定。開設時期は平成 32 年前後 ・大型ショッピングモールも開業（平成 26 年） ・河川、公園などの周辺環境の再整備も計画 ◎東京オリンピック時に花畑団地が誕生、2020 年のオリンピック・パラリンピックに合わせて花畑エリアが生まれ変わります。
六町 エリア	<ul style="list-style-type: none"> ・T X 六町駅の駅前に 3,600 m²の区有地を所有 ・隣接する駅前広場、公園と一体的活用可能 ◎都心へのアクセスが便利な T X と周辺地域をつなぐ新たな交通手段の充実や、まちに活力を与える民間施設を誘導し、区内外からの来街者の増加を図り、六町駅の知名度向上とまちの活性化を進めます。
綾瀬 エリア	<ul style="list-style-type: none"> ・駅前顔づくりを検討 ・子ども家庭支援センター跡地構想の再構築 ◎都心へのアクセス性が高い綾瀬駅周辺で急激な住宅開発が進むまちの現状を捉え、綾瀬小学校等周辺公共施設を含めた駅前のあるべき姿を構築し、まちの将来像の実現に向けたまちづくりを展開します。
千住 エリア	<ul style="list-style-type: none"> ・西口駅前の再開発、5つの大学誘致とまちの魅力が向上 ・働く女性が住みたいまちランキングも上位 ◎足立区のシンボルとして、さらなる大学連携を進めるとともに、エリア全体の賑わいの創出や魅力的資源の有効活用により、足立区のイメージアップに努めます。
西新井 ・梅島 エリア	<ul style="list-style-type: none"> ・西新井駅西口の駅前広場整備に着手 ・駅東西を結ぶ連絡通路計画 ◎駅や周辺施設の再整備の動向を注視しつつ、都営住宅跡地の有効活用、未整備の西新井公園計画の再構築、東武線をくぐる南北線構想の実現など、まちづくりの機運を高めます。
江北 エリア	<ul style="list-style-type: none"> ・区内初の大学病院誘致に着手。東京女子医大東医療センター移転の覚書を締結 ・エリア内に多くの大規模用地が創出 ◎大学病院を核としながら、統合による小中学校跡地、都住建替による創出用地、江北給水場の上部利用などに、新たな魅力や活力を創出する施設を誘導し、区の新たな拠点となるまちづくりを展開します。
竹の塚 エリア	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道高架化の工事が進行中 ・駅西口駅前広場や駅前道路など基盤整備に着手 ◎駅東口のUR都市機構住宅や周辺区有地などに足立区の北の玄関として相応しい民間事業者を誘導し、駅東西が一体となる回遊性の高いまちづくりを目指します。

出典：足立区ホームページ・エリアデザイン計画(平成27年7月時点)

資料－3 区民や事業者の意見

ア 障がい者団体へのヒアリングの結果の概要

重点整備地区の選定や生活関連施設の検討等を行うため、どのような経路で、どのような施設を利用しているかなど、基礎的な情報を得ることを目的に、ヒアリングを実施しました。

平成27年10月19日、22日開催

ヒアリング場所は、竹の塚障がい福祉館

ヒアリング対象団体(50音順)／延べ人数15名

- ・足立区機能訓練友の会
- ・足立区パーキンソン病友の会
- ・足立サンソ友の会
- ・東京頸髄損傷者連絡会
- ・足立区視力障害者福祉協会
- ・足立区ろう者協会
- ・国際障害者年を進める足立の会
- ・日本オストミー協会

障がい者団体へのヒアリングの結果の概要(その1/2)

項目	意見などの概要／意見の発信団体
よく利用する施設 ＜公共施設の場合＞	・竹の塚障がい福祉館、障がい福祉センターあしすと、ギャラクシティ、区役所、エル・ソフィア／各団体
よく利用する施設の 良い点、悪い点	・庁舎に音響装置が付いた／足立区視力障害者福祉協会 ・筆談ボードがあると良い／足立区ろう者協会 ・竹ノ塚駅前の商店街は、自転車の駐輪が多く、車道に出て通行するしかない。はみ出し荷物も多い／足立区機能訓練友の会
よく利用する施設の 悪い点の解決策	・オストメイト対応トイレ内には、パウチ等が置ける場所と衣服を掛けるフックを付けてほしい／日本オストミー協会
よく利用する施設ま での移動手段	・病気になって以来、怖くて電車には乗っていない／足立区機能訓練友の会 ・バスをよく利用する／国際障害者年を進める足立の会
道路、バス、鉄道 の良い点、悪い点	・バスの車外へのアナウンスが徹底されていない／足立区視力障害者福祉協会 ・トイレ内に緊急警報のフラッシュライトを設置してほしい／足立区ろう者協会 ・車内での車椅子の固定の仕方が安全でない、前後に動くことがある／国際障害者年を進める足立の会
横断歩道、交差点の 利用で困っているこ と	・歩道と車道の段差が2cmないと歩道と車道の区別ができない。縁石の黄色のラインは手掛かりにならない／足立区視力障害者福祉協会 ・西新井のイオンの前の道路は、道が狭くて大きいバスも通り、怖い(あしすとへ行く道、大正通り)／足立区機能訓練友の会

(つづく)

障がい者団体へのヒアリングの結果の概要(その2/2)

項目	意見などの概要／意見の発信団体
連続的なバリアフリー化の必要性	・最低限、最寄り駅、最寄りのバス停から公共施設まで、視覚障害者誘導用ブロックを設置してほしい／足立区視力障害者福祉協会
重点的な取組が必要だと思ふ地域	・北千住、北千住の東口、綾瀬、五反野、区役所、西新井、竹の塚／各団体
心のバリアフリーの必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車や看板が視覚障害者誘導用ブロックの上に置かれている／足立区視力障害者福祉協会 ・相手に質問ができないなど自分自身がバリアを作る／足立区ろう者協会 ・自転車がフルスピードで走り、止まってくれない。押して渡れという表示がほしい／国際障害者年を進める足立の会 ・ヘルプマークを周知してほしい／足立区パーキンソン病友の会

イ 第1・2回区民部会（まち歩き点検等）

区役所及びその周辺の道路や建築物について、バリアフリーの状況を見学し、これを日常生活でよく利用する街なかや建物に存在するバリアまたはバリアフリーの程度と比較してもらい、問題や課題、解決方法を浮き彫りにするために実施しました。

平成27年12月2日、10日開催

意見交換の場所は、足立区役所 南館4階作業室

参加団体(50音順)／延べ人数32名

- ・足立区機能訓練友の会
- ・足立区社会福祉協議会
- ・足立区視力障害者福祉協会
- ・足立区手をつなぐ親の会
- ・足立区まちづくり推進委員会
- ・足立区ろう者協会
- ・足立サンソ友の会
- ・子ども支援専門部会
- ・日本オストミー協会
- ・足立区肢体不自由児者父母の会
- ・足立区女性団体連合会
- ・足立区地域保健福祉推進協議会
- ・足立区パーキンソン病友の会
- ・足立区民生・児童委員協議会
- ・足立区老人クラブ連合会
- ・国際障害者年を進める足立の会
- ・東京頸髄損傷者連絡会

区民部会(まち歩き点検等)の結果の概要

項目		主な意見
道路等 (屋外)	歩道	<ul style="list-style-type: none"> ・インターロッキングの舗装は車椅子だとガタガタする ・車椅子の場合、なるべく歩道と車道の段差はない方が良い ・視覚障がい者にとって、歩道と車道の段差は必要 ・狭い歩道では、歩道の中央に視覚障害者誘導用ブロックを設置してほしい
	横断歩道・信号機	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行者用の青時間が短い信号がある ・音響信号を設置してほしい ・エスコートゾーンを設置してほしい
	バス・タクシーのりば	<ul style="list-style-type: none"> ・バスのりばにベンチがあると良い ・バスが歩道に横付けできるようにしてほしい ・バスのりばを案内する音声案内があると良い ・タクシーのりばを案内する視覚障害者誘導用ブロックがない
施設 (屋内)	出入口	<ul style="list-style-type: none"> ・車椅子やベビーカーがスムーズに通行できるようにしてほしい ・視覚障害者誘導用ブロックは黄色にしてほしい
	受付・待合場所	<ul style="list-style-type: none"> ・カウンターに車椅子が接近できるようにしてほしい ・カウンターには、傘や杖を掛けるフックがあると良い ・車椅子用の記載台を設けてほしい ・待合場所には、車椅子のスペースを設けてほしい ・ベンチの近くにベビーカーを置くスペースがほしい
	トイレ	<ul style="list-style-type: none"> ・荷物を置く棚や杖を掛けるところがほしい ・男女トイレ、だれでもトイレの配置を案内する音声案内があると良い ・男性用トイレにベビーチェアを設置してほしい ・大人用のおむつ替えのベッドを設置してほしい
	エレベーター	<ul style="list-style-type: none"> ・エレベーターを案内する視覚障害者誘導用ブロックを設置してほしい ・複数台の車椅子やベビーカーが同時に利用できるエレベーターがあると良い
	駐車場	<ul style="list-style-type: none"> ・車椅子が後方から乗降する車もあるので、広い乗降スペースがあると良い

ウ 事業者部会メンバーへのアンケート調査

重点整備地区の選定や生活関連施設の検討等を行うため、バリアフリー化についての情報を得ることを目的に、アンケート調査を実施しました。

平成27年11月5日～12月28日実施

アンケート方法は、第1回協議会で仕様(様式)を示し、個別にFAXまたは電子メールにより返信

回答者(団体)

- ・東日本旅客鉄道株式会社
- ・京成電鉄株式会社
- ・首都圏新都市鉄道株式会社
- ・東武バスセントラル株式会社
- ・京成バス株式会社
- ・国際興業株式会社
- ・一般社団法人東京ハイヤー・タクシー協会
- ・警視庁千住警察署
- ・警視庁竹の塚警察署
- ・国土交通省関東地方整備局東京国道事務所
- ・東京都建設局第六建設事務所
- ・足立区都市建設部
(交通対策課・工事課・街路橋りょう課・みどり推進課・公園管理課)
- ・東武鉄道株式会社
- ・東京地下鉄株式会社
- ・東京都交通局(日暮里・舎人ライナー)
- ・朝日自動車株式会社
- ・株式会社新日本観光自動車
- ・東京都交通局(都営バス)
- ・警視庁西新井警察署
- ・警視庁綾瀬警察署
- ・東京都建設局東部公園緑地事務所

事業者部会メンバーへのアンケート調査の結果の概要(その1/2)

項目	主な回答
バリアフリーの取り組みの考え方や方針	<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリー法および関係省令等に基づき、地域の要請及び支援の下、鉄軌道駅の構造等の制約条件を踏まえ可能な限りの整備を進めている ・ノンステップバスの積極的な導入 ・乗務員教育におけるバリアフリー対応 ・交通安全のバリアフリーの推進 ・重点整備地区内の特定道路について優先的に整備を進めていく ・全ての施設において円滑に利用できるようにするため、定められた「整備基準」を踏まえ、利用者の視点からより高い水準で公共事業の整備を進めていく
バリアフリーの取り組みの実績(特に足立区内で)	<ul style="list-style-type: none"> ・エレベーター、内方線付点状ブロック、多機能トイレ、視覚障害者誘導用ブロック、段差解消、音声案内の設置、多言語表示 ・ノンステップバス、バス停の上屋、ベンチ、バス接近表示装置、バス車内及び営業所の窓口には筆談具を設置 ・ゆとりシグナル信号(青信号残り時間。赤信号待ち時間を表示提供)、横断歩道の整備、弱者感應機(視覚障がい者用)付信号機等の設置

(つづく)

事業者部会メンバーへのアンケート調査の結果の概要(その2/2)

項目	主な回答
バリアフリーの取り組みの計画や予定(特に足立区内で)	<ul style="list-style-type: none"> ・段差解消、多機能トイレ、内方線付ブロック、エレベーター等整備 ・ノンステップバスの導入、バス停の上屋、ベンチ、バス接近表示装置の設置 ・信号機のバリアフリー化、横断歩道の整備、歩道上の二輪車等、違法駐車等の指導取締まり ・道路・公園の新設・改築等に伴うバリアフリー化、公園内の視覚障害者誘導用ブロックの設置や遊戯広場には障がい者でも利用可能な遊戯の設置
バリアフリーの取り組みを進めていく上での課題	<ul style="list-style-type: none"> ・構造上の制約、国・都・区からの補助の充実、予算 ・既設バリアフリー設備におけるスパイラルアップの検討 ・道幅が狭い等により車椅子乗降のためのバスのスロープ板を取り出せない箇所が一部存在 ・管理者・事業者同士の連携 ・地域住民の理解、公園利用者のマナー改善
バリアフリーに関する広報活動や啓発活動の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・マナーに関するポスター掲示、 ・ホームページ、時刻表等にバリアフリーマップを掲載 ・優先席付近には優先席の案内とともにヘルプマークの案内を掲示 ・バス乗り方教室の実施
バリアフリーに関する内部研修等の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス介助士の取得 ・車椅子の対応方法の研修、バリアフリー研修の実施

エ 子育て中の方へのヒアリングの結果の概要

重点整備地区の選定や生活関連施設の検討等を行うため、子育て中の方に対し、お子さんと、どのような経路で、どのような施設を利用しているかなど、基礎的な情報を得ることを目的に、ヒアリングを実施しました。

平成28年2月15日、18日、25日、29日開催

ヒアリング場所は、区役所、子育てシェアハウス OHANA、子育てサロン千住、子育てサロン綾瀬、子育てサロン上沼田、子育てサロン西新井、子育てサロン竹の塚

ヒアリング対象者／延べ人数32名

- ・区民部会メンバー
- ・子育てサロン利用者

子育て中の方へのヒアリングの結果の概要

項目	意見などの概要
よく利用する施設 〈公共施設の場合〉	<ul style="list-style-type: none"> ・竹の塚保健センター、竹の塚図書館、総合スポーツセンター、ギャラクシティ、梅田図書館、エル・ソフィア、生物園など ・最寄りの子育てサロンや児童館、地域学習センター、公園など
よく利用する施設の 良い点、悪い点	<ul style="list-style-type: none"> ・双子のベビーカーは、開き戸だと狭くて入れないし、片手で開けて押して入るのは難しい。小さいエレベーターだと利用できない ・おむつ替え、授乳ができるかが大事。母乳でなければミルクを作るスペースがないと大変 ・男性用トイレにおむつ替えがなく、不便 ・病院は空きの診察室を利用して授乳できる ・ギャラクシティは思いっきり屋内で遊べて良い ・駐車場がない施設は行けない ・トイレが近くて、子どもが騒いでも平気なフードコートが良い ・ベビーチェアのない公園のトイレは行きにくい。公園のトイレは怖くて使えない。小さい子のための遊具がない公園がある ・商店街の放置自転車は、子どもが触ってひっくり返しそうになる
よく利用する施設の 悪い点の解決策	<ul style="list-style-type: none"> ・公園のトイレを洋式にしてほしい、明るくしてほしい ・飛び出しを防ぐためと変な人が入ってこないように、柵を設置した方が良い ・双子のベビーカー対策や、男性による子育て対策が必要
よく利用する施設ま での移手段	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車が多い。そのほか徒歩、ベビーカー、自動車
道路、バス、鉄道の 良い点、悪い点	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども（6歳）は一人で歩かせない。被害者にも加害者にもなる ・小学校まわりの歩道はガードレールで出られないようになっている。子どもの飛び出しの防止になるので良い ・はるかぜは良い路線だが、ベビーカーだと乗りづらい ・バスの中で子どもは立たせると不安定で、転んでけがをしても困るので、座らせる ・鉄道の幅広改札は駅員のそばにあることが多いが、そこは人が溜まりやすいため、ベビーカーで通ることができない ・凸凹の歩道や排水溝の網、水はけのために傾いている歩道は、ベビーカーでは通りにくい ・自転車は子どもを乗せると重いし不安定なので、車道での移動は怖い。歩道は広い方がいい、歩道を自転車で通行したい
横断歩道、交差点の 利用で困っているこ と	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども目線だと信号がわかりづらい ・信号の押ボタンについて、小学1年生でまだ漢字が読めず、青にならないので、ずっと待っていたことがあった
心のバリアフリーの 必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・エレベーターの係が待っている車椅子やベビーカーを見つけると、他をきちんと断って乗せてくれる大型店がある ・妊婦マークでよくなってきているが、外国ではドアを開けてくれるのは当たり前だった ・スピードを出す自転車が多い。すぐにはよけられない ・ベビーカーで電車に乗ると周囲の目が気になる ・大半の母親は自ら声を出すのが難しい

資料－４ 重点整備地区となる地域の選定

(1) 予備選定～1次選定～

ア 駅を介在する地域：23地域

駅を中心とした500mの範囲を「駅を介在する地域」として抽出します。

駅を介在する地域

路線	地域	備考
常磐線	北千住	他線の北千住駅は、ここに含まれる
東京メトロ	綾瀬、北綾瀬	
つくばエクスプレス	青井、六町	
東武スカイツリーライン・東武大師線	堀切、牛田・京成関屋、小菅、五反野、梅島、西新井、竹ノ塚、大師前	
京成本線	千住大橋	京成関屋駅は、牛田駅と一体にする
日暮里・舎人ライナー	足立小台、扇大橋、高野、江北、西新井大師西、谷在家、舎人公園、舎人、見沼代親水公園	

イ 駅を介在しない地域：9地域

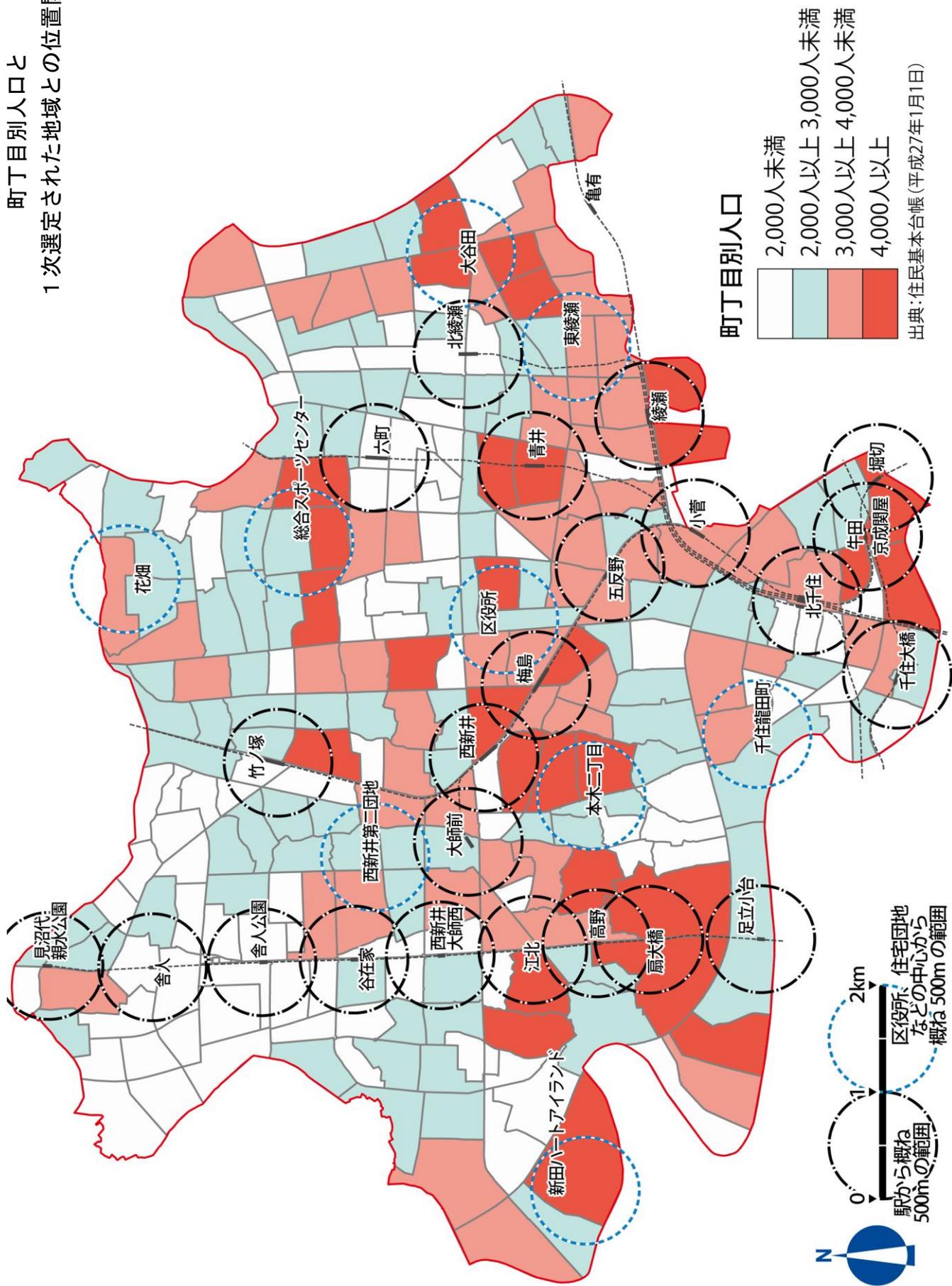
駅から離れ、人口が多くかつ主要な公共的施設や商店街が立地している500mの範囲、または、区役所本庁舎を中心とした500mの範囲を「駅を介在しない地域」として抽出します。

駅を介在しない地域

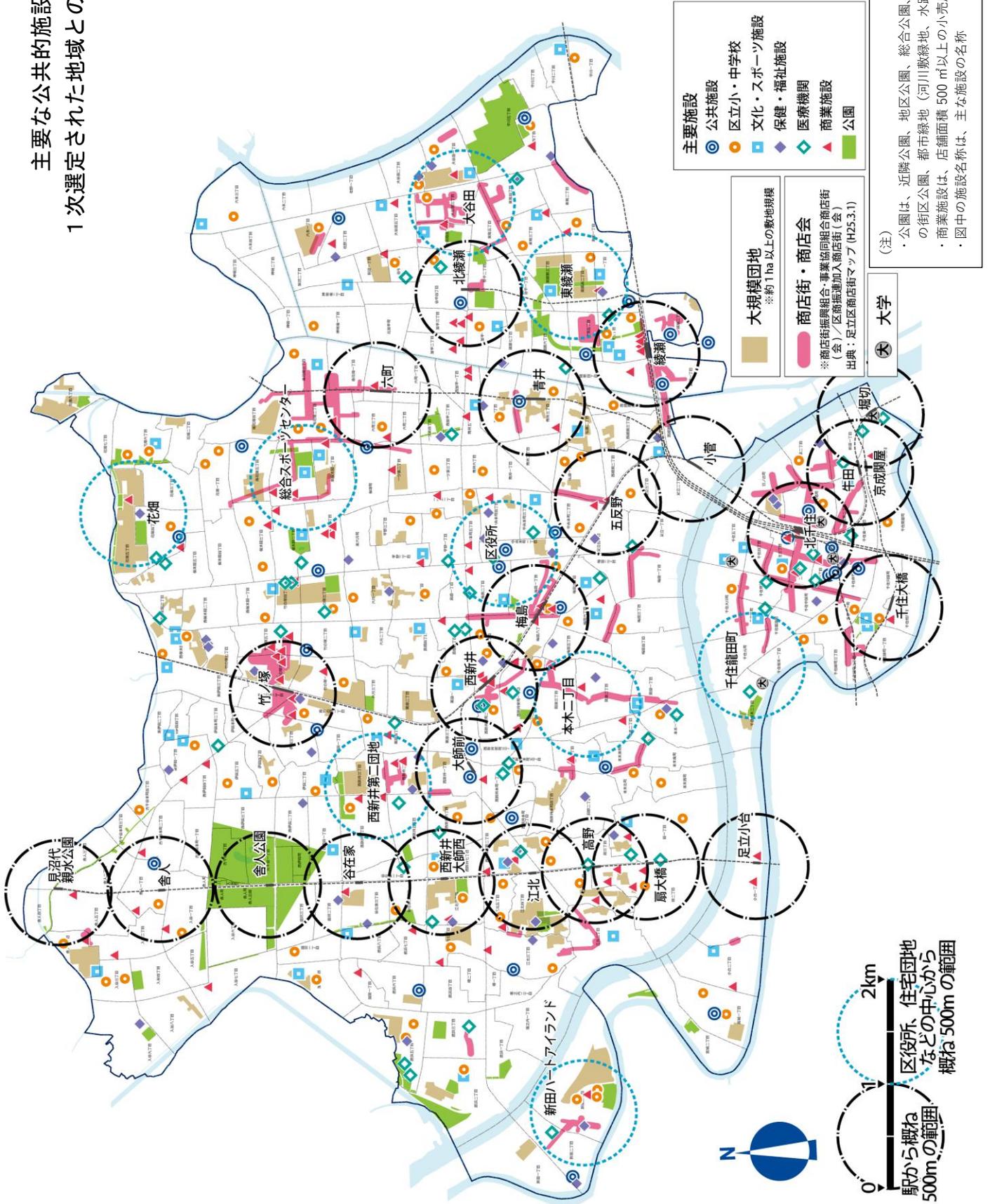
地域	人口（人）	主要な公共的施設の立地状況
千住龍田町	9,147	千住柳町住区センター、桜会病院、帝京科学大学など
東綾瀬	14,157	東綾瀬住区センター、下井病院、三徳綾瀬店など
大谷田	12,379	大谷田住区センター、大谷田障がい福祉施設、いずみ大谷田店など
総合スポーツセンター	10,444	総合スポーツセンター、花保住区センター、オリンピック保木間店、コモディイイダ竹の塚東店など
区役所	12,971	足立区役所、足立保健所、苑風会病院など
花畑	8,101	花畑区民事務所、地域包括支援センターはなはた、ベルクモール足立花畑など
本木二丁目	12,180	本木関原住区センター、地域包括支援センター関原、カズン関原店など
西新井第二団地	11,015	地域包括支援センター西新井、大内病院、マルエツ西新井店、ウエルシア足立西新井店など
新田ハートアイランド	9,129	地域包括支援センター新田、敬仁病院、ベルク足立新田店、新田さくら公園など

人口の出典：住民基本台帳／平成27年1月1日現在

町丁目別人口と
1次選定された地域との位置関係



主要な公共的施設と 1次選定された地域との位置関係



(2) 予備選定～2次選定～

ア-1 駅を介在する地域における人口と駅乗車人員の状況

総人口及び高齢者人口は梅島が最も多い状況にあります。

駅乗車人員は、北千住駅が圧倒的に多く、次いで綾瀬駅が多い状況にあります。

駅を中心とした500mの範囲内の人口と駅乗車人員

路線		地域	総人口 (人)	高齢者人口 (人)	駅乗車人員 (人/日)
常磐線	TX、東京メトロ	北千住	12,067	3,116	331,039
つくば エクスプレス	-	青井	12,151	2,830	6,141
	-	六町	8,498	1,873	12,378
東武 スカイツリー ライン	-	堀切	9,556	2,027	1,976
	京成本線	牛田・京成関屋	10,842	2,601	18,790
	-	小菅	11,936	2,674	2,819
	-	五反野	13,358	3,075	17,528
	-	梅島	16,371	3,462	15,652
	東武大師線	西新井	15,573	3,000	32,283
	-	竹ノ塚	11,437	2,991	36,207
東武大師線	-	大師前	12,973	3,190	6,818
京成本線	-	千住大橋	11,597	2,610	5,707
東京メトロ	常磐線	綾瀬	13,685	2,324	43,636
	-	北綾瀬	10,829	1,920	13,143
日暮里・舎人 ライナー	-	足立小台	2,796	482	1,616
	-	扇大橋	7,362	1,935	3,538
	-	高野	7,387	1,926	2,275
	-	江北	10,975	3,374	3,948
	-	西新井大師西	9,590	2,614	4,692
	-	谷在家	9,319	2,062	3,863
	-	舎人公園	809	155	1,848
	-	舎人	8,552	1,754	3,113
-	見沼代親水公園	11,136	2,727	5,113	

人口の出典：住民基本台帳／平成27年1月1日現在

駅乗車人員の出典：平成26年数字で見る足立／平成25年度中の1日平均

ア-2 駅を介在する地域における人口と駅乗車人員の指数化

総人口及び高齢者人口は、最も多い梅島の値を100として、ほかを指数化します。

駅乗車人員は、北千住駅が圧倒的に多いため、次いで多い綾瀬駅の値を200として、ほかを指数化します。

駅を中心とした500mの範囲内の人口と駅乗車人員の指数化

地域	総人口 の指数化	高齢者人口 の指数化	駅乗車人員 の指数化	指数の合計	選定
北千住	74	90	1,517	1,681	●
綾瀬	84	67	200	351	●
西新井	95	87	148	330	●
竹ノ塚	70	86	166	322	●
梅島	100	100	72	272	●
五反野	82	89	80	251	
牛田・京成関屋	66	75	86	227	
大師前	79	92	31	203	
青井	74	82	28	184	
江北	67	97	18	183	●
北綾瀬	66	55	60	182	
千住大橋	71	75	26	172	
見沼代親水公園	68	79	23	170	
小菅	73	77	13	163	
六町	52	54	57	163	●
西新井大師西	59	76	22	156	
谷在家	57	60	18	134	
堀切	58	59	9	126	
舎人	52	51	14	117	
扇大橋	45	56	16	117	
高野	45	56	10	111	

ア-3 駅を介在する地域における選定：7地域

指数の合計の多い上位5地域を選定します。北千住、綾瀬、西新井、竹ノ塚、梅島となります。

江北、六町は、足立区都市計画マスタープランにおいて地域拠点の位置付けがあり、またエリアデザインの位置付けがあることから選定します。

イ-1 駅を介在しない地域における1 km以遠の状況

最寄り駅から1km以遠(500mの範囲の過半をカバーしない)の地域は、千住龍田町、新田、総合スポーツセンター、花畑です。

最寄り駅からの距離の状況

地域	最寄り駅から1km以遠	参考人口(人)	選定	備考
千住龍田町	○	9,147	●	
東綾瀬		14,157		綾瀬駅から1 km以内
大谷田		12,379		北綾瀬駅から1 km以内
総合スポーツセンター	○	10,444	●	
区役所		12,971	●	五反野、梅島駅から1 km以内
花畑	○	8,101	●	
本木二丁目		12,180		梅島、西新井駅から1 km以内
西新井第二団地		11,015		大師前駅から1 km以内
新田	○	9,129	●	

人口の出典:住民基本台帳/平成27年1月1日現在

【指標として、最寄り駅から1 km 以遠を採用する理由】

交通バリアフリー法(旧法)の解説によると、「重点整備地区の範囲は、駅からおおむね500mから1 km 以内の範囲であると想定される」と示されてある。

また、Q & Aバリアフリー新法によると、「生活関連施設(駅や公共的施設など)相互間の移動が通常行われる地区の面積は、おおむね400ha 未満の地区」と示されており、これを円とみなすと、半径は約1,130mとなる。

よって、最寄り駅から1 km 以内にある地域は、駅を介在する地域とセットで検討されるものと捉え除くこととし、1 km 以遠にある地域を、駅を介在しない地域として優先的にバリアフリーを進めるべきものとする。

イ-2 駅を介在しない地域における選定：5地域

最寄り駅から1km以遠にある地域を選定します。千住龍田町、総合スポーツセンター、花畑、新田となります。

また、区役所は、足立区都市計画マスタープランにおいて、区内で唯一の行政・防災拠点の位置付けであることなどから選定します。

なお、選定されなかった地域は、最寄り駅を中心とするそれぞれの地域(駅を介在する地域)における選定に応じて別途検討します。

(3) バリアフリー法に基づいた選定

配置要件、課題要件、効果要件、その他の要件(2区分)について、12地域を評価します。なお、駅を介在する地域と介在しない地域は、別々に選定します。

ア 配置要件による選定（中心から 500m の範囲を対象）

駅を介在する地域では、北千住がAランク、西新井と綾瀬と竹ノ塚がBランクです。

駅を介在しない地域では、総スポと区役所がAランク、花畑がBランクです。

区分	対象地域	駅の乗車人員数	左の指数化(あ)	よく利用する施設数	左の指数化(い)	(あ) + (い)	左のランク分け
駅を介在する	北千住	331,039	759	25	86	845	A
	綾瀬	43,636	100	22	76	176	B
	六町	12,378	28	13	45	73	D
	梅島	15,652	36	28	97	133	C
	西新井	32,283	74	29	100	174	B
	竹ノ塚	36,207	83	25	86	169	B
	江北	3,948	9	16	55	64	D

駅を介在しない	龍田町	-	-	10	34	34	C
	総スポ	-	-	20	69	69	A
	区役所	-	-	19	66	66	A
	花畑	-	-	14	48	48	B
	新田	-	-	11	38	38	C

※駅の乗車人員数は、平成26年数字で見る足立／平成25年度中の1日平均による

※駅の乗車人員数の指数化は、綾瀬駅の値を100としてほかを指数化(あ)

※よく利用する施設数は、500mの範囲に立地している公共施設(区役所、区民事務所、区内官公署等)、区立小・中学校、文化・スポーツ施設(生涯学習センター、地域学習センター、住区センター、図書館、ホール、体育館・プール等)、保健・福祉施設(保健所、子育てサロン、地域包括支援センター、障がい福祉施設等)、医療機関(病院、休日応急診療所)、商業施設(店舗面積500㎡以上の小売店)、公園(近隣公園、地区公園、総合公園、運動公園、約1ha以上の街区公園、河川敷緑地・水路を除く都市緑地)、大学、保育所・幼稚園の数による

※よく利用する施設数の指数化は、西新井の値を100としてほかを指数化(い)

※(あ)+(い)のランク分けは、以下のとおりとする

区分	(あ)+(い)	ランク分け
駅を介在する地域	240～	A
	160～239	B
	80～159	C
	～79	D
駅を介在しない地域	60～	A
	40～59	B
	20～39	C
	～19	D

イ 課題要件による選定（中心から 500mの範囲を対象）

駅を介在する地域では、六町と綾瀬がAランク、梅島と竹ノ塚がBランクです。

駅を介在しない地域では、総スポと新田と区役所がAランク、龍田町がBランクです。

区分	対象地域	段差 2cm 超の箇所 の割合 (あ)	勾配 8% 超の箇所 の割合 (い)	誘導ブロ ックが無 い箇所の 割合 (う)	(あ) + (い) + (う)	左の 指数化	左の ランク 分け
駅を 介在 する	北千住	7	4	29	40	49	C
	綾瀬	13	14	41	68	83	A
	六町	5	2	70	77	94	A
	梅島	0	9	39	48	59	B
	西新井	1	11	21	33	40	C
	竹ノ塚	4	10	32	46	56	B
	江北	14	0	17	31	38	C

駅を 介在 しない	龍田町	9	23	27	59	72	B
	総スポ	7	2	73	82	100	A
	区役所	2	8	55	65	79	A
	花畑	2	2	22	26	32	C
	新田	23	1	54	78	95	A

※(あ)は、有効幅員2m以上の歩道の歩車道境界の段差が2cmを超える箇所の割合

※(い)は、有効幅員2m以上の歩道の横断歩道等のすり付け勾配が8%を超える箇所の割合

※(う)は、有効幅員2m以上の歩道の車道接続部に視覚障害者誘導用ブロックが無い箇所の割合

※(あ)+(い)+(う)の指数化は、総スポの値を100としてほかを指数化

※(あ)+(い)+(う)のランク分けは、以下のとおりとする

区分	(あ)+(い)+(う)	ランク分け
駅を介在する地域	75~	A
駅を介在しない地域	50~74	B
	25~49	C
	~24	D

ウ 効果要件による選定（中心から 500mの範囲を対象）

駅を介在する地域では、北千住と綾瀬と六町と竹ノ塚と六町と江北がAランクです。

駅を介在しない地域では、区役所と花畑がAランクです。

区分	対象地域	都市マスやエリア デザインの位置付け (あ)	関連事業 (い)	(あ) + (い)	左の ランク 分け
駅を 介在 する	北千住	・広域拠点（2） ・千住エリア	・千住1丁目地区 第一種市街地再 開発事業	4	A
	綾瀬	・地域拠点 ・綾瀬エリア	・子ども家庭支援 センター跡地の 再整備	3	A
	六町	・地域拠点 ・六町エリア	・駅前整備	3	A
	梅島			0	D
	西新井	・地域拠点 ・西新井・梅島エリア		2	B
	竹ノ塚	・地域拠点 ・竹の塚エリア	・鉄道の立体化	3	A
	江北	・地域拠点 ・江北エリア	・病院の誘致	3	A

駅を 介在 しない	龍田町			0	D
	総スポ			0	D
	区役所	・行政拠点（2） ・防災拠点	・足立福祉事務所 の開設	4	A
	花畑	・花畑エリア	・団地再生 ・大学の誘致	3	A
	新田			0	D

※広域拠点及び行政拠点は2、防災拠点及び地域拠点は1とした。

※(あ)+(い)のランク分けは、以下のとおりとする

区分	(あ)+(い)	ランク分け
駅を介在する地域	3～	A
駅を介在しない地域	2	B
	1	C
	0	D

エ その他の要件（人口）による選定（中心から 500mの範囲を対象）

人口が集中している地域はバリアフリー化の優先度が高い地域と言えます。

駅を介在する地域では、六町以外がAランクです。

駅を介在しない地域では、区役所がAランク、総スポと龍田町と花畑がBランクです。

区分	対象地域	夜間人口	左の指数化(あ)	高齢者人口	左の指数化(い)	(あ) + (い)	左のランク分け
駅を介在する	北千住	12,067	74	3,116	90	164	A
	綾瀬	13,685	84	2,324	67	151	A
	六町	8,498	52	1,873	54	106	B
	梅島	16,371	100	3,462	100	200	A
	西新井	15,573	95	3,000	87	182	A
	竹ノ塚	11,437	70	2,991	86	156	A
	江北	10,975	67	3,374	97	164	A

駅を介在しない	龍田町	9,147	56	2,766	80	136	B
	総スポ	10,444	64	2,679	77	141	B
	区役所	12,971	79	3,064	89	168	A
	花畑	8,101	49	2,370	68	117	B
	新田	9,129	56	1,255	36	92	C

※夜間人口は、住民基本台帳／平成27年1月1日現在による

※高齢者人口は、住民基本台帳／平成27年1月1日現在による

※夜間人口の指数化は、梅島の値を100としてほかを指数化(あ)

※高齢者人口の指数化は、梅島の値を100としてほかを指数化(い)

※(あ)+(い)のランク分けは、以下のとおりとする

区分	(あ)+(い)	ランク分け
駅を介在する地域	150～	A
駅を介在しない地域	100～149	B
	50～99	C
	～49	D

オ その他の要件（安全安心）による選定（中心から 500mの範囲を対象）

交通事故の原因に応じてバリアフリー対策が必要となる場合があります。また、地震に関する地域危険度が高い場合は、災害時の移動困難を軽減するための対策が必要です。

駅を介在する地域では、北千住と西新井がAランク、その他はCランク以下です。

駅を介在しない地域では、いずれもCランク以下です。

区分	対象地域	地震に関する地域危険度の高い地域の割合 (あ)	1k㎡あたり の高齢者の 事故発生件 数	左の指数化 (い)	(あ) + (い)	左の ランク 分け
駅を 介在 する	北千住	100	8.4	78	178	A
	綾瀬	0	7.0	65	65	C
	六町	0	9.2	85	85	C
	梅島	38	6.0	56	94	C
	西新井	62	10.8	100	162	A
	竹ノ塚	0	6.8	63	63	C
	江北	8	4.0	37	45	D

駅を 介在 しない	龍田町	57	1.7	16	73	C
	総スポ	0	9.0	83	83	C
	区役所	1	4.8	44	45	D
	花畑	0	3.3	31	31	D
	新田	0	2.8	26	26	D

※地震に関する地域危険度は、地震に関する地域危険度測定調査(第7回)／平成25年9月公表による

※(あ)は、当該地区の面積(河川を除く)に占める「災害時活動困難度を考慮した総合危険度4および5」の面積の割合

※1k㎡あたりの高齢者の事故発生件数は、警視庁交通事故発生マップ／警視庁ホームページ(平成27年12月時点)による

※1k㎡あたりの高齢者の事故発生件数の指数化は、西新井の値を100としてほかを指数化(い)

※(あ)+(い)のランク分けは、以下のとおりとする

区分	(あ)+(い)	ランク分け
駅を介在する地域	150～	A
駅を介在しない地域	100～149	B
	50～99	C
	～49	D